

牛は私の人生――

Profile もりかわ・あゆみ

昭和62年11月21日生まれ。七城町林原区出身。若手農家の団体「4Hクラブ」に所属。事例発表や後進の育成などの活動にも積極的に取り組む。結婚を機に山鹿に移り住むも、菊池を拠点に活動を続けている。旧姓・緒方。山鹿市在住。32歳。

薄暗い夜明け前の牛舎。ズラリと並ぶ83頭の牛1頭ずつに語りかけながら、体調やケガの具合を見る。「牛は目で訴えてくるし、脚が痛いと近くに来てアピールする。素直で可愛い生き物なんです。『動物が相手だから大変』なんて思ったことは、一度もありません」。若手農家の団体「4Hクラブ」に所属し、堆肥の販路拡大を提案した発表は県青年農業者会議の畜産部門で1位の秀賞に。4月からクラブの菊池支部代表に就任した。「若手農家が協力して明るく楽しく活動し、菊池の農業を盛り上げたいですね」

物心ついたときから動物が大好き。「猿の飼育員になりたくて」菊池農業高校に進学したが、牛の搾乳体験で乳を揺らしながら走る姿に一目惚れ。自主的に牛の世話をするほど熱中した。卒業後は専門学校でファッションのデザインを勉強。その後は車の工場にも勤務したが「やっぱり牛が忘れられなくて」酪農の道に。七城の牧場勤務を経て3年前からシリカファームしすい（吉井牧場）で働き、牛舎の管理を任されるほど信頼を得ている。

金髪は、酪農のイメージを明るくしたい気持ちから。「それに、この見た目です仕事ができたら格好いいじゃないですか」。県内の農業女子で集まる会も始動。「女子の力で農業を盛り上げたいですね。人を雇える立場になったら若い子たちを積極的に採用し、農家の輪を広げたい。酪農は天職。一生続けます」

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

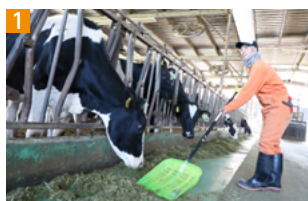
問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968 (25) 7252

菊池人
81

酪農家

守川 亜由美さん



1_毎朝5時半に出動し、牛の世話をしている 2_4Hクラブの活動は学校とも連携。母校の菊池農業高校で進路相談に乗る 3_服飾の経験を生かし冬に仔牛が着る服「カーフジャケット」を自作。インスタグラムに公開したところ、全国から作製依頼が届いた